

西円山敬樹園

〔 I 〕 施設機構

1. 現 況

名 称	介護老人福祉施設 西円山敬樹園
開 設 年 月 日	1982年4月10日
所 在 地	札幌市中央区円山西町4丁目3番20号
事 業 の 種 類	介護老人福祉施設
事業内容及び付帯事業	①入所 ②短期入所生活介護 ③通所介護 ④訪問介護 ⑤居宅介護支援 ⑥介護予防センター ⑦認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
施 設 定 員	施設入所 123名 短期入所生活介護 14名 通所介護 一般型20名・認知症型12名
居 室 等 の 概 要	居 室 部 分 1人部屋・・・ 1室、2人部屋・・・9室 3人部屋・・・18室、4人部屋・・・16室(合計44室) その他の部分 食堂・・・2室、機能訓練室・・・1室、浴室・・・2室

3. 諸会議・委員会

会議名	開催月	会議内容	参加者
運営会議 (マネジメントレビュー)	毎月1回	施設並びに在宅サービスの運営状況を確認し、その課題における修正や改善を各所属長と協議する。	園長・施設長・施設ケア部長・各所属長
部門長会議	毎月1回	事故・苦情報告において、施設全体のサービスに影響を及ぼすケースについて、是正・予防策の検討を行う。また、各部における懸案事項等を協議する。	園長・各部門長・サービス管理責任者
内部監査委員会	年1回	サービスシステム維持管理のために、内部サービス監査実施計画等の協議をする。	サービス管理責任者及び内部監査員
入所判定会議	随時	入所事前面談終了後入所可否の決定及びサービス提供に対して、関係者を招集し協議する。	園長・生活相談員・施設ケア部長・健康管理課長・生活支援課主任・生活リハビリ課職員
リーダー会議	毎月1回	介護業務全般の改善並びにサービス提供に関する調整及び入退所の状況、待機状況の検討協議をする。	施設ケア部長・健康管理課長・生活相談課役職者・生活支援課役職者
ケア部会議	年4回(6.9.12.3)	リーダー会議で検討・協議された課題と利用者のケースに対する課題を検討協議する。	園長・施設ケア部全職員及び生活相談員
行事会議	毎月2回	施設サービスにおける年間行事計画の策定及び毎月の行事実施状況の確認をするため、関係者を招集し協議する。	園長・生活相談員・施設ケア部長・健康管理課長・生活支援課主任及び行事委員
給食会議	毎月1回	食事サービスに関する一連の課題等を検討するため、関係者を招集し協議する。	園長・栄養士・施設ケア部主任以上の役席者・デイサービス職員・食事委員
施設ケア部各種委員会	毎月1回	褥瘡予防委員会・食事委員会・入浴委員会・行事余暇委員会・教育委員会・感染対策推進委員会・安全管理委員会	施設ケア部の主任以上の役席者及び各委員
ケアマネジャー会議	毎月1回	ケースカンファレンスをとおして、ケース毎の修正及び改善策等を検討協議する。	居宅介護支援事業所の介護支援専門員
環境衛生委員会	毎月1回	施設内の環境整備上の問題及び改善事項、感染対策等について協議する。	園長・施設ケア部長・健康管理課長・施設ケア部の委員・施設管理員
入所検討委員会	2か月毎	待機者についての入所必要性のランク付けを行い、入所予定順位の検討を行う。	園長・生活相談員・施設ケア部役職者

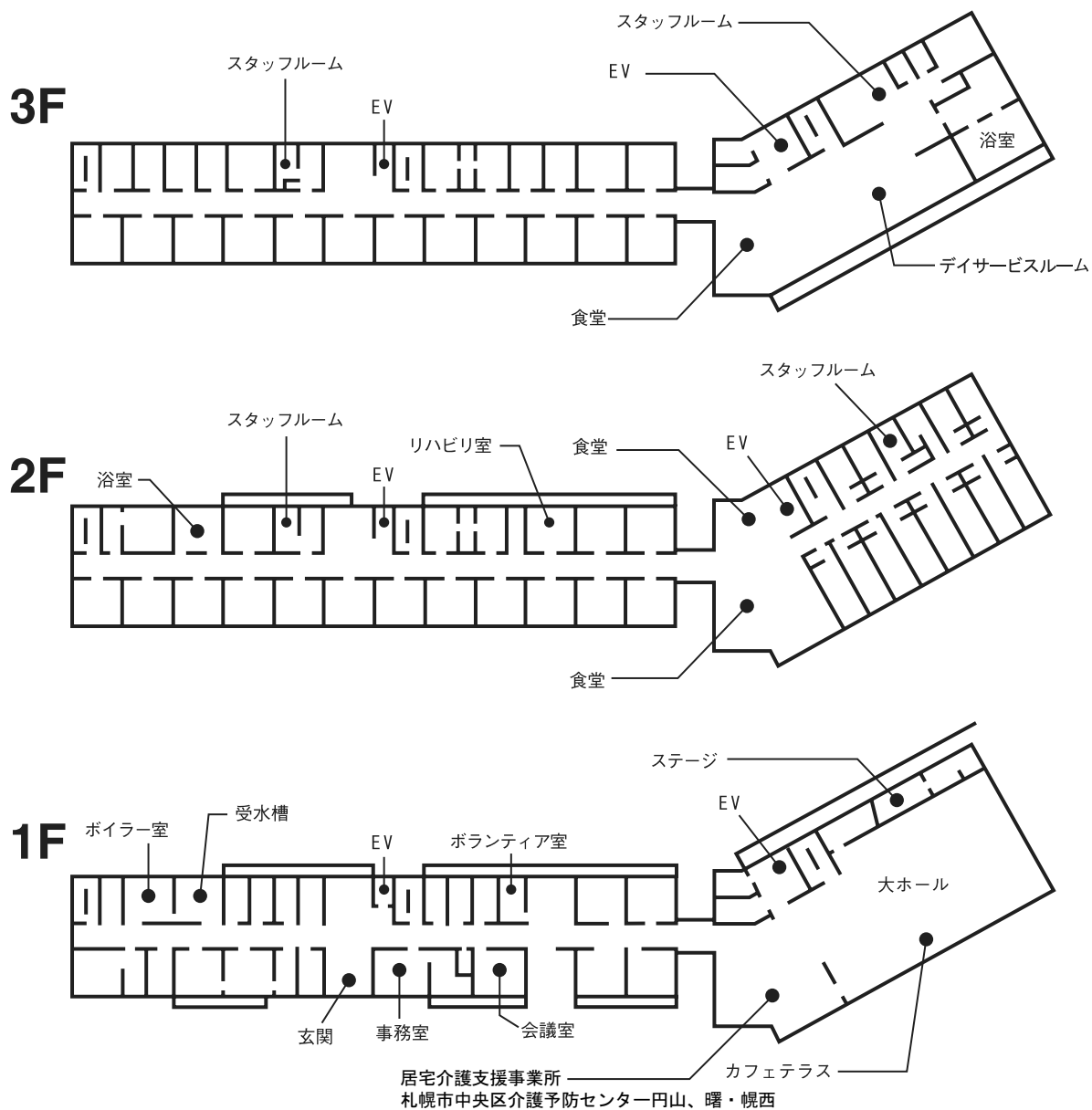
〔Ⅱ〕 建物概要

建物の概要

建物構造 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建

建物延面積 5,119.01㎡

敷地面積 5,964.39㎡



2006年度 事業報告

西円山敬樹園

【入所：定員123名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>44,895 人</u>	<u>44,644 人</u>
一日平均入所者数	<u>123.0 人</u>	<u>122.3 人</u>
入所待機者	<u>224 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 3.5</u>	
協力医療機関	: <u>1. 西円山病院</u>	
	: <u>2.</u>	
	: <u>3.</u>	

【短期入所生活介護：定員14名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>3,650 人</u>	<u>2,169 人</u>
一日平均入所者数	<u>10.0 人</u>	<u>6.0 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.9</u> (要支援1・2を除く)	

【通所介護：一般型20名、認知症型12名】※2006年度一般型25名

	目 標	実 績
延利用者数（一般型）	<u>3,444 人</u>	<u>3,599 人</u>
〃（認知症型）	<u>2,174 人</u>	<u>1,789 人</u>
一日平均利用者数（一般型）	<u>14.0 人</u>	<u>14.6 人</u>
〃（認知症型）	<u>8.8 人</u>	<u>7.3 人</u>
要介護度状況 一般型	： <u>平均要介護度 1.3</u> （要支援1・2を除く）	
認知症型	： <u>平均要介護度 2.6</u> （要支援1・2を除く）	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数（介護保険）	<u>18,976 回</u>	<u>18,660 回</u>
延派遣回数（介護保険外）		<u>6,529 回</u>
一日平均利用回数（介護保険）	<u>52.0 回</u>	<u>51.1 回</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.8</u> （要支援1・2を除く）	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>2,940 件</u>	<u>2,424 件</u>
（うち介護予防）		<u>293 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.4</u> （要支援1・2を除く）	

【介護予防センター】

(円山)

延相談件数 77 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：45件 権利擁護：0件 高齢者虐待：0件介護予防：48件 その他：43件

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	<u>31</u> 回	<u>309</u> 人
介護予防教室	<u>46</u> 回	<u>271</u> 人
転倒予防教室	<u>9</u> 回	<u>49</u> 人
認知症予防教室	<u>25</u> 回	<u>141</u> 人
研修会・講演会	<u>0</u> 回	<u>0</u> 人
その他	<u>24</u> 回	<u>626</u> 人

(曙・幌西)

延相談件数 61 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：14件 権利擁護：0件 高齢者虐待：1件介護予防：16件 その他：13件

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	<u>24</u> 回	<u>404</u> 人
介護予防教室	<u>8</u> 回	<u>76</u> 人
転倒予防教室	<u>6</u> 回	<u>38</u> 人
認知症予防教室	<u>5</u> 回	<u>44</u> 人
研修会・講演会	<u>1</u> 回	<u>800</u> 人
その他	<u>0</u> 回	<u>0</u> 人

2006年度 事業計画

介護老人福祉施設 西円山敬樹園

1. 施設の理念

人格・尊厳・自由を尊重し、やすらぎと安心を基本とする利用者本位のサービスをめざして、高齢者に『夢と希望』を提供する。

2. 運営基本方針

今年度における「制度改正」にあつては、利用者の方々は勿論のこと、事業者側においても、施行後最も変革を求められるものとなった。サービスの選択肢は広く、利用範囲は狭く、今後プラス改定の望めない介護報酬等、私たちを取巻く環境は、ある意味複雑化する傾向にあると考える。しかしながら、制度本来の理念である「利用者本位のサービス」に徹する基本姿勢は堅持していかななくてはならない。利用者の方々からの厳しい選別と評価を受ける今、「サービスの質」を落とさず常に安定したサービスの供給体制を維持するためにも、変革期の今を好機と捉え経営の効率化と基盤整備の強化に努める。

そして、サービスの地域社会への安定供給こそが高齢者の方々にとって、住み慣れた地域で安心して暮らしていけることを認識し、今一度基本に立ち返り「選ばれる施設、選ばれるサービス」を目指すため、以下の項目を引続き推進していくものとする。

※ 安定したサービスの提供

※ サービスの質の向上

※ 遵法並びに健全経営

尚、「基本方針」並びに後述の「具体的目標」は一体化されたものとして、定期的な検証を実施し、生きた「方針及び目標」として推進できるよう努めていきたい

3. 具体的目標

「運営会議」等において協議検証のうえ、進捗状況並びに達成度を評価し、より生かされたシステムの構築を目指す。

① 『経営の安定と効率化、健全経営の維持』

- ・ 利用定員の確保と具体的数値目標の維持
- ・ 適切な収支分析と効果的資金の投入
- ・ コスト管理の徹底と業務運営上の無理、無駄の排除
- ・ 適正な人員配置の整備による効率的運営の強化

② 『やさしさを基本とした思いやりのあるサービスの提供』

- ・ 利用者、家族間との連携強化によるサービス満足度の追及
- ・ 業務並びにケアシステムの発展的改善と提供体制の再構築
- ・ 職員の資質向上と接遇教育の徹底
- ・ 既存サービスの見直しと地域密着型サービスへの取組み

③ 『組織の活性化』

- ・ 「人事考課制度」の適正評価と人材の育成確保
- ・ 「自己申告制度」の実施による職員の「声」の反映
- ・ グループ内人事交流及び 트레이ニー研修の実施

4. その他の個別事項

① 提供サービスの安心と満足への取組み

- ・ 「感染管理体制」及び「安全（介護事故等）管理体制」の強化
- ・ 「ご利用アンケート」の定期的実施（年1回以上）

- ・ 「苦情内容」等の対応、改善策の公開
- ②統合マネジメントシステムへの取組み
- ・ 「品質並びに環境」マネジメントシステムの効果的運用
 - ・ プライバシーマーク取得に向けた「個人情報保護の取扱い」の管理と改善
- ③施設管理
- ・ 「施設管理課」を中心とした、設備安全の定期的検証と管理面の強化
 - ・ 設備老朽化対策に対する中長期計画の構築と実施
 - ・ 「環境衛生委員会」を中心とした生活環境の改善と衛生管理の強化
- ④組織管理（人事施策）
- ・ 「人事考課制度」施行一年目の検証と改善への取組み
 - ・ 各制度（人事考課、自己申告）の効果的实施
 - ・ 管理者能力の向上と育成並びに教育の徹底
- ⑤職員研修
- ・ 研修計画の見直しと実践に即した研修内容の構築
 - ・ 資質向上に意欲的な職員に対する、希望する研修への参加
 - ・ グループ内施設への短期研修実施への取組み
- ⑥評価制度（自己、第三者）
- ・ 「外部評価制度」に十分対応できるサービスシステム改善と取組み
 - ・ 「自己評価」の定期的実施（年1回以上）
 - ・ 各評価実施後の「情報公開」への取組み